

平成28年6月17日

磐田市長 渡部 修 様

磐田市文化会館建設検討委員会

会 長 浅羽 浩

(仮称) 磐田市文化会館の基本理念及び建設位置について

(第1次答申)

磐田市文化会館建設検討委員会は、磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会の提言を受け、平成27年7月に設置されました。

委員会では、文化会館建設の理念などの基本構想から、規模や具体的な施設などの基本計画まで審議することとなっていますが、本事業の円滑な推進及び今後の審議のため、新しい文化会館の基本理念及び建設位置について「第1次答申」として答申させていただくこととしました。

基本理念については、市民の文化芸術活動の拠点施設となることを踏まえて検討するとともに、建設位置については、現在の磐田市民文化会館の現状と課題等を整理し、「広さ」「財源」「時間」「環境」「活用」等の視点から検討を行ってきました。

今後、市において最終的な判断をされると思われませんが、その際、本委員会の意見を反映されることを期待します。



1. 磐田市民文化会館の現状と課題

磐田市民文化会館は昭和 54 年に建設され、築後 37 年が経過しています。

施設は経年劣化し、空調、音響、照明、給排水などの設備についても、部品の調達等が困難で、大規模なトラブルの際には修繕費用が高額となります。

本施設への来館者の多くは、自家用車を利用していますが、駐車場は敷地内に 150 台分しかなく、一定の集客が見込まれる催事の開催時などでは、今之浦市有地を臨時駐車場として使用することとなります。それに加え、近隣の民間施設への無断駐車などを引き起こし、駐車場の不足は慢性的な問題となっています。

2. 文化会館の必要性

磐田市民文化会館は、収容定員 1,500 人の多目的ホールにおいて、音楽、舞踊やミュージカル、演劇など様々な舞台を通じて、優れた文化芸術を広く市民に提供してきました。

近年では、その愛好家が直接参加できるイベントが開催されるとともに、ポップスやロックのコンサート、お笑いライブ等も開催されており、多くの方に足を運んでいただける施設となっています。

また、合唱コンクールや吹奏楽をはじめとする部活動等の成果披露の会場として頻繁に利用されるなど、学校の教育活動にも大きく寄与してきました。

本施設の利用者は毎年 10 万人を超え、磐田市の文化芸術活動の中心であるばかりでなく、講演会や式典など様々な市民活動の拠点として、そして何より市民の憩いの場として、今後もなくてはならない施設となっています。

3. 新しい文化会館の基本的な考え方（使命・役割）

様々な文化芸術を享受し、心豊かな市民生活を送るための拠点施設である文化会館の建設は、まちづくりなど市民生活全体にかかわる事業と考えられます。

したがって、新しい文化会館の基本的な考え方として、次の基本理念を十分に踏まえた施設としていくことが必要です。

【（仮称）磐田市文化会館の基本理念】

前 文

文化芸術は、ひとづくり・地域づくりの基盤であり、多くの恵みをもたらす社会の財産です。

新しい磐田市文化会館が、多くのひとが集い交流する場所となり、市民がいろいろな文化芸術に触れ、文化芸術を受け継ぎ、創造し、発信する拠点施設となるために、次のとおり文化会館の基本理念を定め「歴史と文化が薫るまち磐田」の推進に努めます。

1	誰でも気軽に立ち寄ることができる
2	いろいろな文化芸術に触れる
3	優れた文化芸術に触れ感動する
4	文化芸術をとおして、ひとを育てる
5	文化芸術を継承し創造、発展させる
6	市内外に発信する

4. 新しい文化会館の建設位置について

新しい文化会館の建設位置の検討にあたっては、「広さ」「財源」「時間（建設に要する時間）」「環境（近隣への影響及びアクセス等）」「活用（既存施設の活用及び将来展望等）」「その他（地盤、中・高校生の利用）」の6つの評価項目を定めた上で、事務局から提示された候補地を中心に以下の5箇所について、比較検討を行いました。

その結果、新しい文化会館の建設位置は、

アミューズ豊田南側敷地

とすることが望ましいとの結論に達しました。

本委員会として、財源のほか、車社会に対応した十分な駐車場の確保、良好な地盤、既存施設を活用した文化ゾーンの創出、効率的な敷地運用が期待できることなどから判断しました。

（建設候補地）

候補地	所在地	面積
市民文化会館跡地	二之宮東地内	16,769 m ²
今之浦市有地	今之浦地内	23,895 m ²
磐田新駅北側	新貝区画整理地内	6,642 m ²
アミューズ豊田 南側敷地	上新屋、森岡地内	18,513 m ² (39,482 m ²)
かぶと塚公園	見付、富丘、一言地内	106,994 m ²

※アミューズ豊田と一体の敷地利用を検討する。

※「かぶと塚公園」は委員からの提案です。

5. 建設に伴い配慮を望むこと

本委員会として、新しい文化会館の建設位置を答申するにあたり、現文化会館は、中・高校生による利用も多いこと、また、市中心部から移転することに伴う影響が危惧されることから、以下のような意見を付しますので、今後の市の政策に反映させることを望みます。

- (1) 中・高校生のアクセス等への支援
- (2) 現在の磐田市民文化会館跡地の有効活用

資料

磐田市文化会館建設検討委員名簿

No	委員氏名	関係部門
1	青島 美子	教育関係者
2	浅羽 浩	学識経験者（会長）
3	小野 泰弘	市議会議員
4	佐藤 典子	利用者代表
5	鈴木 正善	団体代表
6	鈴木 洋子	団体代表
7	鳥居 勤	団体代表
8	永井 聡子	学識経験者
9	袴田 茂人	利用者代表
10	平野 邦孝	教育関係者
11	村上 勇夫	自治会代表（副会長）